

令和7年度 グループ発表の概要について（4班）

4班 茂木隼太さん

4班では、まずテーマを一つ、人と人の繋がりということ、また町の発信力っていう3本の柱を題材にして話し合いを行いました。

まず一つ目ですが、他の班でもあったように、板倉東洋大の施設の活用に関してですね。やはり、話を聞くとどうしてもその施設の活用っていうのは、いろいろと難しい問題があるっていう話を聞いているんですけども、その中でも例えば教育の場として、町には小学校が2校、中学校と高校が1校ずつありますが、より高い教育を目指した施設、例えば私立とかになってしまうかもしれないんですけども、小中高一貫の学校をつくる、そういう教育施設に活用することはできないかなと思っております。また、それに追加で、例えば、町外の方とかだけではなくて、小学校、中学校、高校の学生さんだけではなくて、例えば大人の方が公民館でよくやってるようなスマホ教室であったりとか、あと防犯教室も昨今いろんな犯罪や空き巣被害だったりとか増えていますので、そういうことを伝える、教える場所として使えないかなと。そうすることで、より地域の方々のコミュニティも深く、根強くなることができるんじゃないかなと思って、施設の活用に関して、まず一点目を話しました。

そうすると何が次に起きるかということ、町外の方をより町に引き込む、引き込めるんじゃないかなということで、より町外の方がもっと板倉町に関心を持ってくれるように、板倉町って住みやすいんだなって思ってくれるように、例えば他の班でも出たんですけども、道の駅でしたりとか、そういう施設ですね、他県の方、他市区町村の方がよりお金を板倉町に落としてくれる場を作った方がいいのではないかなと思いました。また、例えば道の駅を例にしますが、道の駅をつくることによって他のところからお金を落としてくれる、プラス、町内での雇用を増やすことができるという点。また、「ここ、いいところなんだな」というのをより発信することができる施設として、道の駅を活用したらどうかなと思っております。私自身、以前あった板倉町の農楽塾、オペラのところですね、団体の広報をやっている者なんですけれども、よりそういう他の団体であったりとかと町が密接にコラボすることによって、板倉町って文化もそうだし、教育もすごいんだなっていうので、例えばニュータウンとかその他諸々、空き家をリノベーションハウスなどにして、人を引き込むことができるんじゃないかなということで、二つ目の話をしました。

最後に、人を引き込むためにはどうすればいいか。皆さん、館林市の方から、アゼリアの方から板倉町に夜帰ってくると、高速の陸橋を渡った瞬間に暗くなりますよね。わかりますかね。以前、ユーチューブとかでもなんかね、板倉ニュータウンがオールドタウンと言われるようなこともあったりしましたが、そう思わせないような、例えば板倉町にある県道、町道、何でもいいです。道路をまず整備すること。そして、街灯を増やしたりとか、物理的に明るくすること。そうすることによって、犯罪を減らすことにも効果が起きると思いますし、明るさっていうのは物理的な明るさの他にも、施設的な明るさ、コミュニティ的な明るさ、私、実は1週間前に板倉町に戻ってきたからなんですけど、2年ほど

埼玉県越谷市の方に住んでたんですけれども、向こうに行ってから挨拶をしても誰も、おじいちゃん、おばあちゃんも若い人もみんな「誰こいつ」みたいな、反応してくれないってことがありまして、板倉町に帰ってきて、挨拶をすると「板倉って温かいな」、「すごくいいところなんだな」っていうのが、やっぱりもっといろんな人に知ってもらいたいっていうのが3本目ですね。まず、人と人との繋がりっていうのと、町の発信力ということで、4班では話し合いをしました。

余談にはなるんですけれども、皆さん、ニンテンドースイッチってゲーム機を知ってますか。小学生とかがよく遊んでいるゲーム機なんですけども、来年の1月に発売される桃太郎電鉄というゲームがありまして、それに板倉駅っていうのが出るんですよ。ゲームの中では、板倉駅に止まると物件が8,000万で買えるんです、はい、きゅうり畑が5件あり、1件あたり8,000万で買えるんですけれども、そんな感じで本当に板倉町っていうのがよりちょっと出やすくなってきた、増えてきたんですけれども、例えば他の企業さんとか、それこそ桃鉄の任天堂さんだったりとか、桃鉄はコナミか、とかとコラボをして、板倉町ってこういうところなんだよって、そういうのをいろいろ活用しながら発信できる場できないかなと思ってます。これから若い人がどんどんどんどん増えてくる板倉町にしたいし、私もまだ若い側の身として、板倉町をより楽しいところになりたいと思ってますので、今話し合った人と人との繋がり、まちの発信力っていうところについて町議さんの方で話し合いをより深め、よくしていただけたらありがたいなと思います。